

第97回番組審議会議事録

(株)中国コミュニケーションネットワーク

FMちゅーピー 76.6MHz

開催年月日 令和2年10月8日(木) 午前11時

開催場所 中国経済クラブ(中国新聞社8階)

委員:総数7人

出席委員(敬称略)

委員長 川島 宏治(ちゅピCOM取締役)

委員 山根 恵子(ロジテックベベ経営)

委員 中川 圭(乳がん患者友の会きらら理事長)

委員 安達 伸生(広島大大学院整形外科学教授)

委員 中村 靖富満(やまだ屋社長)

委員 向井 良(弁護士)

委員 木ノ元陽子(中国新聞社文化担当部長)

会社側出席:

社長兼放送局長

小野 浩二

制作担当

堀部 正拓

議題

一、開会挨拶および経営報告

一、番組試聴「青年海外協力隊に聞く」

一、ご意見・ご感想

一、訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

◆「青年海外協力隊に聞く」(9月11日放送分)

金曜日の広島すまいるパフェの中で月に1回放送しているコーナー番組。パーソナリティーの萩原世子と「広島県青年海外協力隊を育てる会」の上田みどり会長が、JICAが派遣する青年海外協力隊に参加経験がある人をゲストに招いて話を聞いています。この日の放送はグアテマラで食品加工隊員として活躍した経験のある佐伯区出身の羽熊広太さんをゲストに迎えました。

<番組に対する委員の意見・感想>

・番組の内容だけ見ると、ネタ切れを真っ先に心配したのだが、もう長く続けているコーナー番組だと聞いて、広島にこんなにたくさん青年海外協力隊の経験者がいるのかと驚いた。話の面白さとしては、この番組で語られていたように外国の食文化の話ははずせない。それから、人にまつわるカルチャーショックをもう少し掘り出してほしかった。現地に行ってみないとわからない、人との交流での感覚の違いなどの面白い話をぜひ聞いてみてほしい。また、海外の人たちが広島や日本をどう見ているかという話についても聞きたかった。

・青年海外協力隊の経験者に話を聞くということで、青年海外協力隊がどういう組織で、どういう活動をしているか、参加したいなら問い合わせ先はどこかなどの話が入っていてもよいのではないかと思った。活動に参加した上での問題点なども含めて語ってもらえるとリスナーはありがたいと思うだろう。

・内容はとても面白く楽しかった。羽熊さんがとても話の面白い方だったというのもあるだろう。一方、9月11日に放送されたということもあって、冒頭で2001年の同時多発テロの話に少し触れたが、具体的な話はその後まったくなかった。海外で活動するということもあり、時に危険なこともあるかもしれない。活動の実態にもふれてほしかった。

・大変興味深く聞けた番組だった。青年海外協力隊での活動を終えて、帰国後にもいろんなことにつながっていることが分かった。リスナーにはさまざまな人がいるので、青年海外協力隊についての基本的な情報は毎回入れてほしい。今回取り上げられたグアテマラはなじみが薄い国だ。生活情報や人にまつわる情報をもっと入れてほしかった。

・地球の裏側の国の話なので興味深かった。現地の人たちの日常生活の話や国民性などについてももっと話してほしかった。また、青年海外協力隊に参加したことが帰国後の仕事などにどのように影響したかという話もしてほしかった。

・現地での具体的なエピソードがたくさんあって面白かった。ゲストの話が上手だ。ゲストの中には話が上手ではない方もいるかもしれないので毎回こうはいかないかもしれない。グアテマラという国の場所や人口などの基本的な情報、日本からの移動時間などについて話せばイメージがしやすかったと思う。また「広島県青年海外協力隊を育てる会」についての説明もほしかった。

・ゲストが話上手で楽しかった印象。みなさんが指摘したように、グアテマラという国の基本情報や、青年海外協力隊のやりがいの話、人生がどう変わったかというような気付きや発見の話を聞かせてほしかった。青年海外協力隊の経験者の方々はコミュニケーション能力が高く、向上心が高く、専門的な知識・技術もあり、帰国後に地域に貢献されているという話が感慨深かった。若い人たちに青年海外協力隊に興味をもってもらうためのPRなどがあってもよかったと思う。

◆訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

▽番組での訂正やリスナーからの番組に関する苦情についてはありませんでした。

▽8月30日 文化放送が制作するボートレースの特別番組を放送した。

▽9月4日（金） 夕方の情報番組「にかもとりかの【おれんじ☆かのん】」内で、広島コンピュータ専門学校の生徒たちが1カ月間手作りの番組を放送するヒロコンスタイルを開始し、9月25日まで全4回を放送した。

以上